_ ~

レファレンス通信



"お調べもの" サポートします



20



こんな質問が ありました

レファレンス事例紹介



質問:1995年くらいから2005年頃に、雑誌『文藝春秋』の特集で宮澤賢治や南方熊楠などの有名人に会ったことがある人の話が集められていた。もう一度読みたい。

回答:

町田市の蔵書検索で「文藝春秋」と「宮澤賢治」や「南方熊楠」等を掛け合わせても、資料はヒットしませんでした。そこで国立国会図書館サーチで「キーワード」に「文藝春秋 南方熊楠」さらに資料種別を「雑誌」に特定して検索をすると 23 件ヒットしました。その中から年代的に合う 78 巻 1 号(2000年1月号)の詳細を見ると「南方熊楠 毛についたお通じを見て『腸が出た』と大騒ぎ」とあり、そのシリーズタイトルとして「最後の証言集 私たちが出会った 20 世紀の巨人」とありました。該当号は書庫にありましたので内容を確認し、資料を提供できました。質問者は、館内 0PAC で検索を試されたようですが、見つけられなかった、とのこと。「文藝春秋」は(欠号はありますが)、昭和 14 年 9 月号から古いものは合冊製本して保存しています。ただ特集記事のデータが入っていないものもあり、今回の事例のように該当資料の所蔵があっても、館内 0PAC では見つからないものもあります。国立国会図書館サーチ以外にも東京都立図書館の雑誌記事検索で探すことができます。レファレンスカウンターではインターネット検索ができますので、館内 0PAC で見つからない時はどうぞお声掛けください。

質問:

有有有有有有有

左記の漢字の読み方を知りたい。普通の漢和辞典を引いてみたが、載っていなかった。

回答:

『大漢和辞典』や『字通』など漢和辞典には掲載のない漢字です。じつはこの漢字は「方言漢字」と呼ばれる「地域性を持つ漢字」です。R811.2『方言漢字事典』の冒頭では、「言語における方言すなわち地域言語と併行する地域性をもつ漢字という意味の用語であり、(中略)『方言字』『方字』『土字』『土俗字』『地域文字』『地域漢字』などの名称で呼ばれ、『方言文字』は漢字のほかに仮名などを含む」(『方言漢字』とは P. vi)と説明がありました。他の漢和辞典と同様に巻末の総画索引を確認すると、画数 38 画の項目に該当の漢字を見つけました。掲載ページ (P. 6)を確認すると、「あまのはしだて」とあり、「京都府の地名に見られる地域文字。京都府北部の景勝地で、日本三景のひとつ『天橋立』を表す」と解説があります。ちなみに、P. 8 には「畬(あらく)」という漢字が掲載されています。こちらは、「町田市相原町の丘陵部にある小字『作ヶ畬(さくがあらく)』にのみ地名用例が残る」方言漢字です。気になる方はぜひご覧になってみてください。



レファレンスコーナーより



REFERENCE CORNER



新着資料



請求記号	R290. 1
タイトル	地理学者 その戦中・戦後
著者・出版者・出版年	岡田俊裕・和田書房・2024 年
概要	十五年戦争後期(支那事変期・大東亜戦争期)(1937年7月-1945年8月)に
	教育研究機関(大学・高等師範学校・高等商業学校・高等学校・師範学校・中等
	学校)に在任・在職していた 130 名の地理学者たちが、戦時下にどのような役
	割を担い、どのような研究活動をしていたのか、それぞれの調査研究および言
	論活動の内容を明らかにしています。
	とりあげられている 130 名のうちの一人である野口保市郎は、現在町田市内に
	キャンパスのある法政大学の関係者です。1922年に法政大学予科教授に就任、
	1934 年 1 月からは法政大学高等師範部(夜学、3 年制)の部長を兼任し、同部
	への歴史地理科の増設に尽力しました。
	研究面では日本各地へ調査旅行を実施。『経済地理学概論』(1929 年)、『経済地
	理学総論』(1939年)を刊行。戦時期には国土計画に対して経済地理的な考察
	を加えました。その後は出身地である常陸の歴史地理の研究を続けました。

謎解きゲーム「まちクエ 2025」開催しました!



夏の恒例行事となってきました謎解きゲームを、今年も 開催しました!

今年は「まちクエ入門講座」として、1 時間程度のミニ講座も開催。しらべもののコツや、館内検索機の使い方などをご案内しました。

いわゆる「謎解き」と少し異なるのが、図書館でしらべも のをして謎を解いていくという、独自のスタイルです。ゲ ームを楽しんでいただきながら、図書館の使い方を学ぶこ とができます。

180名を超える皆様にご参加いただきました。なかには 去年のリピーターの方や、遠方からの参加者もいらして、 大変うれしいサプライズでした。たくさんのご参加、ありが とうございました!



どうやって調べたらいいかわからない。そんな時は、レファレンスカウンターへ。 資料探し、調べもののお手伝いをいたします。ご利用をお待ちしています!